鎌倉市
Kamakura City

令和5年(2023年)4月 28 日
政策創造課

「鎌倉市の暮らしやすさと満足度に関する基礎調査」結果速報

鎌倉市では、令和5年 2 月～3 月にかけて、「鎌倉市の暮らしやすさと満足度に関する基礎調査」を実施しました。ご協力いただきました市民の皆様、誠にありがとうございました。

この度、調査結果のうち単純集計の結果がまとまりましたので、速報としてお知らせします。なお、今回の公表内容は、選択式の設問を対象としており、自由記述は含んでおりません。

今後、詳細な集計・分析を行い、確報版の報告書を令和 5 年 5 月下旬頃に公表する予定です。

調査の目的

本調査は、以下の 2 つの目的を兼ねて実施しました。

1. 市民アンケート調査において、回答率を向上させる手法・価値の共同研究

- 株式会社ドリームインキュベータ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長 CEO:三宅孝之)との間で協定を締結し、共同研究を実施しました。
- 調査回答率を向上させることで、従来手法に比べ、より多くの意見を集め、多様な意見を反映したまちづくりを進めることを目指した研究です。
- 調査の実施に当たって、住民基本台帳から無作為に抽出した 2 グループを形成し、一方にのみ回答率向上施策を実施し、結果を比較しました。
- 結果から、「施策により回答率がどの程度向上するか」、「回答率が高いグループと、低いグループを比較した際、意見分布に差異があるか」を検証しました。

2. 鎌倉市の暮らしやすさと満足度に関する基礎調査の実施

- 今後のまちづくりに向けて、市民の皆様の生活における「暮らしやすさ」や「満足度」の視点から、鎌倉市の今後注力すべき施策の方向性を検討するために、鎌倉市の暮らしやすさや生活への満足度に対する市民の皆様の意識や価値観をお伺いしました。

調査の成果のポイント

1. 回答率向上の手法・価値の共同研究について、一定の成果を得ることができた。

- 回答率を約24%高めることができ、グループ間で意見分布の差異もみられた
- 大学等とも協力しながら詳細を分析し、共同研究の成果として公表予定

2. 市民の暮らしやすさや生活の満足度向上に向けた取組検討に活かす。

- 地域の環境・医療、教育などに対する現状認識を把握

Ⅰ. 調査の概要

調査項目

1. 暮らしやすさについて
   ・LWC 指標(暮らしやすさと幸福度の指標)*を基に鎌倉市が設計。
2. 生活や人生に対する満足度について
3. あなた自身のことなどについて

調査設計

1. 調査地域　鎌倉市全域
2. 調査対象　満 18 歳以上の市民(2022 年 11 月時点)
3. 調査対象数　4,000 人(各 2,000 人の A グループ/B グループ)
4. 抽出方法　住民基本台帳から無作為抽出
5. 調査方法　調査依頼を郵送し、回答は郵送回答又はインターネット回答

   ＜回答率向上施策＞

   A グループのみ、以下の施策を実施

   ① 事前協力依頼
   調査対象者に、回答依頼の7日前に、調査対象者になった旨を通知し、協力を依頼。

   ② 督促
   調査締切後、未回答の対象者に改めて協力を要請するとともに、締切を延長。

   ③ 謝礼
   締切までに回答を頂いた全回答者に、クオカード 300 円分を贈呈。さらに、早期回答者(発送後 9 日以内)へは 200 円分を追加し、全体の回答率目標(70%)を達成した場合には、全回答者にさらに 200 円分を追加。
6. 調査期間　2 月16日(木)～3 月 3 日(金)
   - A グループのみ、督促実施後 3 月 20 日(月)へ延長

実施機関

株式会社ドリームインキュベータ
- 調査にかかる費用はすべて同社が負担

回答結果

A グループ	有効回答数	1,120 人	有効回答率	56.0%
B グループ	有効回答数	646 人	有効回答率	32.3%

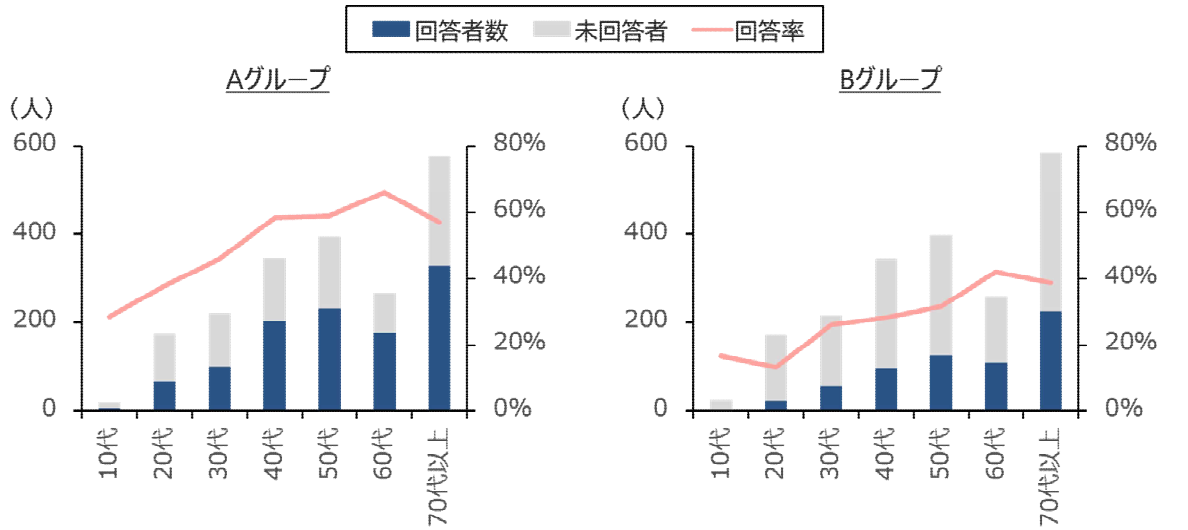
*一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発した、地域の生活環境の測定指標

Ⅱ. 研究のための実証実験の結果

■ 結果のポイント

1. 回答率の向上について

回答率向上施策を行った A グループでは回答率は 56.0%、行っていない B グループでは 32.3%と、約 24%の差が生じました。世代別にみると、1.5～3 倍程度に回答率が向上しています。



年代別回答率

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
Aグループ	28.6%	37.9%	45.9%	58.4%	58.9%	66.0%	56.8%
Bグループ	16.7%	13.3%	25.8%	28.2%	31.6%	42.1%	38.5%
差分(A-B)	11.9%	24.6%	20.1%	30.2%	27.3%	24.0%	18.3%
向上倍率(A/B)	1.7	2.9	1.8	2.1	1.9	1.6	1.5

2. 意見分布の差分について

意見分布を調査する設問項目において、以下のような傾向が見られています。

① A グループの方が極端な意見が少なく、中庸な意見がやや多い

② A グループの方が肯定的な意見がやや多い

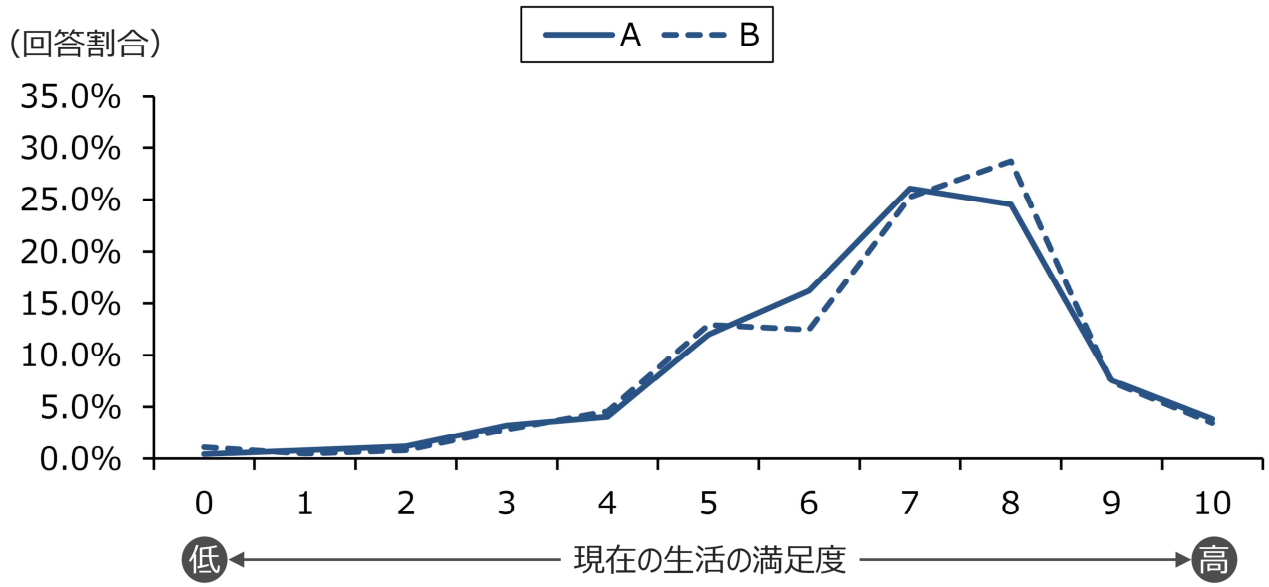
※詳細は現在分析中です。

【集計結果の例】

問９ あなたの生活や人生に対する満足度全体について、伺います。

あなたにとっての最高の生活を 10、最低の生活を 0 としたとき、あなたの現在の生活はどこに位置すると思いますか。(1 つ選択)

… 別紙 単純集計表 P38



その他の質問の単純集計結果につきましては、別紙単純集計表をご覧下さい。